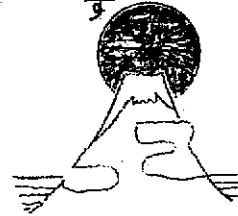


明けまして

おめでとう

ございます



新年を迎えて

自治会連合会長 武田 勇

明けましておめでとうございます。

輝かしい昭和六十一年の新春を迎え、謹んで新年のお慶びを申し上げます。

本年から八十年代の後半に入ったわけですが、農村は依然として過疎から脱却し得ず、我々をとりまく環境には極めて厳しいものがあります。ハイテク、情報化社会の二十一世紀を目前にして、いささか心さびしく感ずる次第です。

しかし、こうした情勢の中でこそ、我々はお互いの心の連帯を密にし、力を分け合って生きていくことが大切で

はないかと思えます。村おこし・町づくり等のことが成功するためにも、矢張り地区の人々の心が一つになることが前提になると思えます。

大代町も教育問題や社会問題等、当面する色々な問題をかゝえておるわけですが、現状をしかと見極め、みんなで見つくり考え、話し合い、互いに英知をかたむけ合って、一つ一つ解決していき度いものです。現状打開のためには、強力な行政力に俟たねばならないこともあるかもしれませんが、それと同時に町民一人一人が前向きな姿勢で、諸問題に取り組む態勢をつくること

新年に想う

運営委員長 熊谷 正 範

昭和六十一年の新春を迎えましたが大江高山の英彦と、ふる里の山河はかわっていません。しかし私達の心は清

新に満ちみちております。人間は過ぎていく物理的時間と、心の持ちようでは長く充実さを感じない心理的時間の二つの流れの中に生きています。新年にあたり公民館活動の目的を原

点にかえって考えてみたいと思えます。住民の教養を高め、健康を増進し、情操をゆたかにするとともに生活文化の向上をはかり、住民のための開かれた公民館でなくてはなりません。具体的には知恵を出しあい、連帯感を深め、自らの生活課題を解決し住みよい地域社会をきずくための実践活動・学習活動がねらいであり、生涯教育のセンターであります。

ふる里の生活課題は山積しております。恵まれた山と耕地を生かした活力ある農林業の振興、大江高山の開発と観光、健康な長寿社会の充実と老人いきがいセンターの建設、二十一世紀に生きる知性あふるるたくましい青少年の育成、大江高山集落農業活性化事業の推進、道路網の整備、過疎化の波は年とともにおしよせ人口僅か八百余名小中学校の小規模化、老人の多い活力なき社会への対応等々、ここで町民ひとりひとりが私情をすてて大局に立ち一つの生活課題解決のため結集することでありませう。

新年にあたり、ロマンと構想をもって豊かで活力のある、住みよい地域づ

くりのため励み合い、今日も暮れたという、あくせくした人生でなく未来へ向って乗りつづけ流れ行く人間でありたいものです。

還暦を迎えて

松江市西川津町 高崎 和道

昭和還暦。昭和も還暦である。私も昭和に生れ育ち今年も還暦を迎える。

還暦の年代といっても平均寿命の延びた現代はまだまだ鼻たれ小僧というべきであろう。がこの歳になったと思えばつい、高齢化社会、老人問題等が頭を掠める。昭和五十九年、女子の平均寿命は世界で初めて八十年を超えたという。人生五十年は名実とも八十年のものとなった。人口の高齢化も昭和七五年には六五歳以上人口は全人口の一五・六％（五九年九・九％）に達する推計という。この渦中に入る自分は、その社会に対しどの様に、どうであらねばならないであろうか、等々つい考えでしまう。国の施策もさることながらさしずめ、なんといっても健康でなければならぬ。健康で精一杯働き、人生八十年にふさわしい、社会の仕組に

とけ込める一員でありたいものである。ある人は言う。精一杯最後まで生き、パタッと死ぬ。そういう「直角型」と。それで行きたいものだ。

手は第二の脳、足は第二の心臓というから、せいぜい手足を使わなければいけない。検査の道を歩み三十数年を経たが、ここでも還暦定年という締切りが迫った。人生八十年。如何に第二の人生を生きるか、趣味等でせいぜいボケない様にすることだと思っている。若い時から習った尺八や篆刻等でも大いに脳に刺激を与えたい。

ともあれ今年も寅年、寅は万物がうごくこと、殻のなかで発生をはじめ動き出す意というし、寅の字は本来ツツシムを訓ずる様で、正月のトソ気分で大トラにならないで字義をかえりみ、ツツシンで過ごすことを吾によく言い聞かせたことである。

暖かい懐の大代がいつまでも心の糧でありますよう。

昭和の還暦を迎えて



山田 渡 重子

思えば昭和という年代は、六十年の

間に何世紀ぶんかの激しい転変を経験した観があります。よくここまで生き延びて来たものだと思います。

大東亜戦争のぼつ発の年に師範学校へ入学。在学中に学徒動員空襲連爆下の工部、名古屋の某航空機製作工場で新鋭機の増産に挺身し、終戦の年に卒業、敗戦を迎えた私は、日本国の再建を心から願ったものです。あれから四十年の歳月が過ぎ去り還暦を迎える年になりました。

現在幼児教育にたずさわって八年目前担任がご結婚と同時に退職、丁度私が中学校奉職を最後に退職した年でした。何とか幼児教育をと再度のたのみに断りきれず、一年をめどにお引受けし幼稚園にやってきました。

教室に入った時、年長組のA子が「先生、森山先生は結婚して、やめんさったですよ。先生は、いつ結婚しますか。」

「そうね、こんどのお正月のおもちを食べてから およめに行こうかね。」
まあ、なんとありがたいことか、これは二十代にもどって、この子らと頑張らなくてはと決意しました。

親と子、教師と生徒との間に今日ほど胸を痛め、ときに耳をふさぎ、顔を被いたくなるような事件が頻発する時代が、かつてあったでしょうか。何よりも子どもを知り、子どもの心をくみとつてやらなければなりません。

幼児の、のびのびしたなかにも野の花を愛する心を、忘れないような子どもに育てたいものと、頑張っている昨今です。

今年 は 寅年

— 新年 雑感 —

弓久 六 場 清 作

皆さん明けましておめでとう御座います。各御家庭では帰省客も多くお揃いで和やかな新春の風景が伺われます。寅年、私も大正三年生れの年男です。振り返って見ると七十年の歩みは誠に感無量です。殊に終戦後の四十年が余りにも短く感じられます。

歩く時代から車の時代へ、何処の家庭を見ても立派になりました。生活程度も向上しました。嬉しい事です。その裏には過疎という病原菌をもった波が押しよせて来ました。そして凡ゆる

ものに感染しつつあります。

基盤整備も着々出来ていますが機械化に伴う当然の仕事、只労力の節減に限られ一毛作の稲作のみで之と言う特産物もないのが実態で残念に思います。大代は人材養成の港であると讃辞を頂きました（ひろばを讀んで）。果して今の大代はどうでしょうか？ 各所で町づくり運動が叫ばれています。大代を考える会の皆さん御苦勞様です。市議選も目前、今年も早々から考える年になるでしょう。

体調を崩した私には、少しでも健康に留意し頑張る積りです。今日も外は吹雪……遠からず草木萌え立つ春も訪れ、其所彼所に耕耘機の音が過疎を吹きとばすかの如く威勢よく響きわたる事でしょう。

成人式を迎えて



本郷 山 根 むつみ

「成人式」この言葉を聞くと、私もやっと大人の仲間入りができたのかと思う。

中身はまだまだ子供のままでいると

1月 少年健全育成指標

この一年 計画を立て、頑張ろう

いうのに、成人式を迎えたことにより昨日までとはちがう自分になったように、少し照れくさいような、それでいて少し淋しいような気もする。

子供の頃（今も子供ではあるが）二十才になった人を見ると、ずいぶん立派な大人に見えていたはずなのに、今二十才を迎えた私は、果たしてどう見られるのか……少し不安です。

二十才は、大人でも子供でもない中途半端な年なのかもしれない私は思うのです。しかし、人生の大事な節目であることに違いはありません。

成人式を迎えた今、大人としての第一歩を踏みだしたばかりの私ではありますが、責任と自覚をもち、少しでも社会に貢献できる人となるよう努力していこうと思います。

年の 初め に

中学三年 渡 井 美津子

今年、私にとって重大な年になる

と思います。

なぜなら、三月には高校入試という大きな壁が待っているからです。

三年生になって、入試の目安とするためのテストが何回かありましたが、まだ先だと思って勉強に力が入りませんでした。だけど、もうそんなことを言っている時間がなくなってしまうました。それなのに私は、まだ不得意な教科があります。今になってこういうことを思っても遅いとは思いますが、残された時間になるべく、これを克服したいと思います。

そして、高校に入れたら、中学の時よりも一層勉強が高度になると思います。だから、入れても気をぬかないようにがんばりたいです。

それと、いろいろなことにチャレンジをして行きたいと思えます。

一年がよい年になるように、がんばってやりたいと思います。

新しい年を迎えて

小学六年 渡利修二

今年、整理・整とん・勉強・卓球

健康の四つの事に気をつけようと思っ

ています。一番目の整理・整とんは、僕の苦手なことなので、きちんとできるようにしたいです。二番目の勉強については、特に、算数・社会・国語にがんばりたいと思います。中学になると算数が数学になって、もっと難しくなるので、三学期には六年間のまとめをしつかりやりたいと思います。三番目の卓球では、昨年、水泳や体操などでいい成績がとれたので、三学期にある大田市卓球大会では、個人戦で三位以内を目標としています。四番目の健康では、昨年のように一日も休まずに学校に行きたいです。今年は中学生になるので小学生気分を脱して、しっかりしたいと思います。

新年俳句

—あすなる句会—



下谷 尾崎 三枝子

。五体満足 何をか言はん 初日の出

下市 立野 草衣

。元朝や 酒酌む妻の 含むえみ

飯谷 武田 島子

。おさがりの 浄めし庭の 松みどり

柿田 横手 いちえ

。マラソンの 宮よりいでて 初茜あかね

下市 渡 あやこ

。大らかに 陽射しあまねし 初雀

昭和60年度

10大ニュース

二月 大家郵便局、無集配局となる。

三月 国鉄バス（大家川本線）廃止。

七月 花田三郎氏（市教育委員長）逝去。

九月 松喰虫予防液注射、被害樹三本でくい止める（行啓記念樹）。

十月 東京石見高山会発足、会員100名。

十一月 国体出場選手：高校テニス（竹本健）、一般相撲（永井利）、高校陸上五千（山根新）。

十二月 川上集会所竣工。

一月 市内花一ぱい運動、金賞公民館。

二月 高山登山始まる（婦人部挑戦）。

三月 赤ちゃん誕生！！ 本年10人目。